

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大和高田市 292028
地域名 (地域内農業集落名)	田井地区 (田井)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	9.62 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	9.62 ha
② 田の面積	9.13 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.49 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.84 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

河川に挟まれ宅地化の進む地域に近接している。平坦な地域で主として水稻を栽培しているが、軟弱野菜の栽培している専業農家もいる。兼業農家も専業農家も高齢化しており今後の農業経営の維持する方向性を考えていかなければならない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

今後も水稻中心に耕作し専業農家の市の特選野菜の作付けも進めていく。兼業農家の高齢化により作付けできない農地が出てきた場合、市外からの認定農業者等にも貸付していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
今後耕作を続けられない農地が出てきた場合は、担い手を交えた話し合いにより、効率的に作業を進められるよう集約を図っていく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	35 %	将来の目標とする集積率	40 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手の多くが現状維持を考えられており、今後は地域外の担い手に頼らざるをえないが、地域外の農業者のキャンペーンに応じ集団化を図っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
貸付きたい農地が出てきた場合、担い手等に集積し集約化を図っていく。また、所有者と耕作者の話し合いにより集約団地化に向けて取り組む。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の貸し借りは、農地中間管理機構を活用し地域内、外の担い手に集積する。
(3)基盤整備事業への取組
現状を維持していくが、将来担い手への集約化が進み、圃場の大型化ができるようであれば基盤整備に取り組んでいきたい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域の担い手や地域外からの農業者が、今後も耕作し続けられるよう、地域も協力し連携を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
高齢化が進み、JAに作業委託等も活用し、農業の継続を図っていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨その他		

【選択した上記の取組内容】

⑦保全・管理等については多面的機能補助金を活用し、地域ぐるみで保全管理を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
到達	A	水稲 野菜	0.6 ha	ha	水稲 野菜	0.6 ha	ha		
到達	B	水稲 野菜	0.4 ha	ha	水稲 野菜	0.4 ha	ha		
認農	C	水稲 野菜	1.2 ha	ha	水稲 野菜	1.2 ha	ha	緑	
利用者	D	水稲 野菜	0.5 ha	ha	水稲 野菜	0.5 ha	ha		
認農	E	水稲 野菜	0.2 ha	ha	水稲 野菜	0.2 ha	ha		
認農	F	野菜	0.5 ha	0.4 ha	野菜	1 ha	ha	青	
認農	G	水稲 野菜	ha	0.5 ha	水稲 野菜	ha	1 ha	橙	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		3.4 ha	0.9 ha		3.9 ha	1 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

